

事業クラスター編成の見直しについて（令和6年度）

北九州市政変革推進プランに基づき、令和6年度は37の事業クラスターについて経営分析の作業を進めている。その状況を踏まえ、事業クラスターを7つのグループに分類し、分析等の内容や進め方を再整理した。特に、公共施設マネジメントや公民連携など横串の視点での検討・議論が必要なものが、様々なクラスターやX方針で論点として現れてきているため、財政・変革局等が担当部局となる「横断検討グループ」を設置し、全庁的にデータ・課題の整理や対応策の検討等を行う。

課題レベル	市政変革の具体的な取組み						
A	<p>■局区X方針に基づく各局区の現場改善・事務改善（区役所・文化施設等の点検・改善の取組みなど）</p>						
B ・ C	<p>■局区X方針に基づく各局区の改革</p> <p>■令和6年度に実施する経営分析</p>						
	1. サービスモデル改革グループ	2. 横断検討グループ	3. 市役所組織グループ	4. 企業会計グループ	5. 財務グループ	6. 業務インフラグループ	7. 政策・施策改善グループ
	政策・施策を固まりで分析し、施設運営やサービス提供の有り様を見直すもの	公共施設マネジメント、公民連携等の横串の視点を検討し、全庁的に対応を進めるもの。	サービスモデル改革やプラチナ市役所PJ、X方針から出てきた組織上の課題に対応するもの	主に別に検討体(審議会等)を設置して検討するもの	改革を進めるにあたっての財政上の枠組みを整理するもの	現行の枠組みに基づき継続実施するもの(プラチナ市役所PJから出た課題への対応など)	個別の政策・施策について検証、見直しを検討するもの
	■文化振興施策	■公共施設マネジメントによるまちづくり	■業務改革による効率的な市役所づくり	■上下水道事業	■公共投資	■契約改革(契約事務の見直し)	■女性活躍・男女共同参画施策
	■公園事業	旧「公共施設マネジメント実行計画の見直し」	■市役所の人事施策	■市営バス事業	■補助金・負担金の見直し	■DXの推進による窓口改革(スマらく区役所サービスPJ)	■戦略的広報
	■スポーツ振興事業	⇒全庁的なデータ・課題整理 施設マネジメントの公民連携のための研究		■地域医療施策	■使用料・手数料の見直し	■DX人材育成	■定住・移住施策
	■保育所・幼稚園	■インフラマネジメント		■食肉センター	■歳入確保の取組	■オフィス改革プロジェクト	■SDGs関連事業
	■子育て支援事業	旧「公共施設マネジメント基本計画(社会インフラ版)の見直し」 ⇒全庁的なデータ・課題整理		■港湾施設マネジメントの推進		■BPR推進	■安全安心なまちづくり
	■青少年関連事業	■持続可能な公民連携体制(外郭団体等のあり方含む)		■公営競技事業			■児童虐待施策
	■環境施策	旧「外郭団体等の見直し」 旧「指定管理者制度の見直し」 ⇒持続的な公共サービス提供のパートナーを担いうるか全外郭団体を検証					■いじめ対策
■市営住宅事業	■未利用地活用					■ごみ処理事業	
	「歳入確保の取組」から分離移行 ⇒未利用市有地の活用に向けた手法等の検討					■小・中・特別支援学校	

【解説：課題レベルABC分類について】
「課題の困難度(レベル感)」や「解決に要する時間」等に基づき課題を以下のとおり分類。
(Aレベル)
行政サービスの向上や業務改善にかかる課題で、現行業務において経営分析等を行わずとも行政として改善策が見えているもの(おおむね年度内に完了できるもの)
(Bレベル)
サービス提供主体・提供水準のあり方や施設運営形態・施設そのもののあり方の見直しを行うもの、これまでのルールや制度枠組みの変更が必要なものなど、費用対効果の分析や他都市比較等の一定の分析を行ったうえで対応策を検討するもの(おおむね3~5年の期間を要するもの)
(Cレベル)
Bレベルよりもさらに課題の困難度が高く、例えば施設の老朽化に伴う統廃合や全市横断的に課題となっているもの(概ね5~10年以上の期間を要するもの)